

## グループ発表結果(介護)

| 介護  | 困った点・問題点  | その対応・解決策   |
|-----|---|--|
| 1G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナを理由に外出したくない(デイサービスに行きたくない)</li> <li>・ADLの低下</li> <li>・人員不足</li> <li>・陽性であるのに連絡が遅い</li> <li>・必要な備品の不足</li> <li>・発熱の状況が事前に分からない</li> <li>・マスクをしてくれない</li> <li>・独居で認知症があるも家族の協力性ない方。<br/>→通所サービスでPCR検査対象となりヘルパー入れず。家族は「母を飢え死にさせる気ですか」と。</li> </ul>  |  |
| 2G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんからの自己申告がないとその方の体調を把握できない</li> <li>・普通に感染者がどのにでもいるという不安</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフは防護服、フェイスシールド、マスク、手袋着用</li> <li>・介護時間を短くする</li> </ul>  |
| 3G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主介護者の陽性</li> <li>・スタッフの感染により事業所の営業停止</li> <li>・事業所によっては、新型コロナ感染者へのサービス停止</li> <li>・濃厚接触者になってしまい、介護サービス停止</li> <li>・感染者が出るとショートステイ先から退所できなくなる。また、その後嫌がる。</li> <li>・家族が入所を渋る。</li> </ul>  |  |
| 4G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者がコロナ感染し、被介護者の面倒を見る人がいない。</li> <li>・同居の家族が勤務先で濃厚接触となった場合の対応の判断が難しい。</li> <li>・単身の人でデイサービスを利用しているが、検温時に37.5度以上あり、利用不可の場合は対応ができない。</li> <li>・デイサービスの利用が一定期間停止になった場合、サービス提供が増えて、勤務シフトを組むことが難しい。</li> <li>・入院中の患者さんとの面会が出来ず、状態把握が出来ない。</li> <li>・事業所での感染が発生した場合の行先</li> <li>・独居高齢者や認知症患者などが感染した場合の支援策がない。</li> <li>・感染を恐れて利用しなくなり、QOLの低下がみられる。また、再開時期の見定めが難しい。</li> <li>・感染対策(マスク着用等)が理解できない方の受け入れ先が少ない。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況を考慮し対応</li> </ul>  |
| 5G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスの休止や外出の自粛により、交流・運動機械の減少</li> <li>・小脳変性症で60代独居の方、毎日ヘルパーの訪問で生活を支えていたが、感染拡大で訪問中止になったら不安があった。</li> <li>・発熱や体調不良など、利用者からのSOSがあっても、防護服の準備などがありすぐに訪問できない。</li> <li>・ヘルパー3名、サービス責任者1名が陽性となりサービスが入れない時があった。</li> <li>・利用者が37.4度のとき、サービスに入るかどうかの判断に迷った。</li> <li>・陽性者宅へヘルパーをサービスに行かせたいができない。家族の反対があった。</li> <li>・独居が多く、ケアが難しい。</li> <li>・糖尿病でインシュリンも使用して義足の60代独居の方、たまに帰ってきた息子が発症。一晩で帰ったが、その後、感染への不安で部屋の窓を開け放ち、アルコールで拭いた日々があった。</li> </ul> | →ヘルパー中止に際しては看護師が支援。ショートステイの利用検討。   |
| 6G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平時でも人手不足、コロナでさらに人手不足</li> <li>・訪問時、熱があるかどうか分からない</li> <li>・ヘルパーに陽性者</li> <li>・認知症の方がマスクできない</li> <li>・訪問時にマスクしない</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ヘルパーさんに無理して訪問していただいた</li> <li>→非接触型体温計で測った。</li> <li>→ほかのヘルパーで補填</li> <li>→換気</li> <li>→マスクを渡し、その場でつけてもらう</li> </ul> |
| 8G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の介入が出来なくなった陽性の方への対応</li> <li>・ショートステイ先でコロナが蔓延し、感染拡大予防のため帰宅できず、費用がかさんだ。</li> <li>・マスク、消毒薬などの不足でとても困りました。</li> <li>・市、県、厚労省などから物品が支給され、とても助かりました。</li> <li>・介護施設からガウン、手袋、シールドの共同購入を依頼され、ネットで探するのが大変だった。時間もかかった。</li> <li>・高齢者が介護サービスを使えなくなった(ショートステイ、デイサービス)</li> <li>・難聴の方と会話する際に、接近することが多く感染の心配がある。</li> </ul>  |  |
| 9G  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで外出、面会に制限があり、筋力低下・認知機能低下する方が多くなった。</li> <li>・デイサービスやショートステイ先のサービス中止で家族の予定が大幅に変わる。</li> <li>・家ではマスクを外している利用者がほとんどで、サービスを安全に提供できない。</li> <li>・閉じこもり、認知症の進行</li> <li>・家族との関わり減少</li> <li>・孤立</li> <li>・支援者がいない</li> </ul>   | →日頃の健康づくりについて啓発していく  |
| 10G | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の機会がうばわれてしまい、他所との交流を失ってしまう高齢者が増えた。</li> <li>・介護サービス(特にデイサービス)の体験利用が出来なくなった。</li> <li>・施設への見学ができなくなった。施設としても、聞き取りのみにて判断することになる。</li> <li>・独居高齢者のサービス提供が停止してしまう</li> <li>・特に新型コロナ感染拡大当初、体温(熱)で利用ができない。また施設によって熱の基準が違っていた。</li> <li>・面会が出来ないため、高齢者の様子が確認できない。</li> </ul>   | →訪問による代替   |